



挨拶

同窓会会長 1期生 西より

2022年度、槻の木高等学校は島上高等学校と高槻南高等学校を母体に創立されて20年が経ちました。ずっと「自分は新設校出身」ですと、言っていました。もう20年の歳月がたち、「新設校」という言葉がに似合わなくなっていました。少し寂しい気持ちもありますが、これまでの槻の木生、教職員の皆様をはじめとした槻の木高校に関わってくださった皆様が積み重ねた伝統だと思つと誇らしく思います。

その月日は伝統だけではなく、その校舎などの施設にも表れています。そもそも新設されたときから古かった校舎は、より年季が入ってきました。槻の木高校同窓会としても、体育館のトイレの改修や空調設備などにも資金を投じて、後輩たちの生活環境改善に寄与してまいりました。高槻の街の風景も少しずつ変化をしており、今年度は、校門から出て道路を渡ったところにあった島上高等学校の記念碑を、高槻市の施設建築に伴い学校内に移設を行いました。

今は学校に入って左は高南広場、右は島上の記念碑と、先輩たちが築いた歴史を槻の木高校に引き継ぐべく、同窓会として形に残すことができうれしく思います。

槻の木高校の同窓会は1期生が卒業した2006年に立ち上がり、18年目を迎えました。ほとんど自力で動くことができなかつた活動も、卒業生の成長もありいろんな活動が増えてきました。もちろん同じ時間を過ごした仲間と同窓会をきっかけに再び会うもよし、同窓会をきっかけに交わることがなかつた学年の違う仲間と出会うのもよし。いっしょに面白いことをしていきましょう。まずは、ふらっと同窓会の総会にお越しになってはいかがでしょうか？

New comer 紹介

同窓会理事 2期生 角より

昨年度から同窓会の理事を務めさせていただいている、2期生の角 高広と申します。大学卒業後は大阪から離れていたこともあり、槻の木高校や同窓会との関わりは全くありませんでした。

数年前に100年以上続く伝統校を卒業した知人の話を聞く機会があり、以下のような話を聞きました。
『卒業生の中には国会議員や芸能人、大企業の経営者も多数いる』
『同窓会の集まりは多くの卒業生にとって楽しみにしているイベント』
『同窓会の集まりからビジネスが生まれたり、新しい友人関係ができる』

伝統校のすごさに圧倒されると同時に、そういえば槻の木高校の同窓会ってどうなっているんだろう?と考えました。同窓会会長の西さんとは卒業後も定期的にコミュニケーションを取る間柄だったこともあり、今の同窓会がどういった活動をしているかについて伺いました。

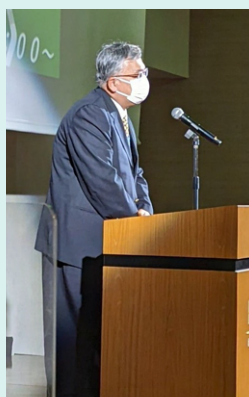
同窓会の活動は数年前から本格化しており、少しずつできることからやっていると感じました。関心は持ったものの、そのときは話を聞いて終わりました。ただ、その後も同窓会のことが気になっており、1年以上経過したタイミングで私からご連絡して、同窓会の運営に関わらせていただくことにしました。個人的には、今後は卒業年度が異なる卒業生同士の親睦を図るイベント、そして卒業生と在校生を繋げるようなイベントを実施したいと考えております。槻の木高校の良い伝統・良き校風づくりを、同窓会の理事という立場からお手伝いできればと思います。

槻の木高校同窓会主催の「15期生二十歳の集い」が2022/3/21(土)春分の日で開催されました。13期・14期生の二十歳の集いがコロナウイルス感染拡大のため中止になり、また今回の15期生も開催日に蔓延防止等重点措置が発令されている状況ですが、実行委員・参加者みなさんの尽力のおかげで開催に漕ぎ着けました。私たち15期生は、卒業直後からコロナ禍が始まり、丸2年不自由で窮屈な生活を送っていたこともあってか、久しぶりの再会への期待度も高く、103人と多くの方にお越しいただきました。制限された環境の中ではありましたが、同窓生同士の談笑は言うまでもなく、担任の先生方の挨拶やコミュニケーション、ビンゴ大会など大いに盛り上がりました。



今回の開催場所は JR 高槻駅のすぐ北「ホテルアベストグランデ高槻」です。槻の木高校からも近く、当時高槻駅を利用していた方には、懐かしみを感じられたと思います。開催が近づくにつれ期待とともに緊張が高まりましたが、再会の感動と喜びが勝り、各人が思い思いに話に花を咲かせることができました。

さらに同窓生だけではなく、私たちの担任の先生方にもお越しいただきました。一人一人のご挨拶を賜った際に、先生方からは懐かしむ言葉とともに「あの頃は子どもだったみんなが、今やこんなに立派になって安心・感動した。つらい思いをしてきたと思うけど、あなた達ならきっと乗り越えられる。」と激励の言葉もいただきました。その声をお聞きするたびに、私たちも当時のいろいろな思い出が鮮明に思い出されました。しかし、残念ながら、先生方とは食事前にお別れすることになっておりました。同窓生のみなさんも別れを惜しみ、私も最後にとツーショットを撮らせていただくことになりました。短い時間ではありましたが、一秒たりとも無駄にできない貴重な時間になりました。



辰巳和也先生



久一千絵先生



南先生と筆者



ビンゴ大会

食事についてはアルコール抜き・テーブル式という制限もありましたが、おいしい料理に舌鼓を打ちつつ、近況報告や思い出に浸りました。そして今回の目玉イベントであるビンゴ大会が始まりました。一等の景品はなんと、「神戸港クルーズディナー」！他多数のラインナップがありました。みなさん司会から発せられる番号に一喜一憂し、ドキドキワクワクのひと時を楽しみました。

そうしていると、あっという間に時間が過ぎていき、早くも閉会の時間となりました。10年後の「三十歳の集い」を約束し、最後の全体写真を以て、15期生二十歳の集いは幕を閉じました。

